

## 議 事 録

会 議 名	令和5年度川西市総合教育会議(第4回)		
事 務 局 (担当課)	政策創造課		
開 催 日 時	令和5年7月29日(土) 14時00分から16時00分		
開 催 場 所	緑台公民館(川西市向陽台1丁目6番地の38)		
出 席 者	委 員	川西市 越田市長  川西市教育委員会 石田教育長、坂本委員、治部委員	
	関係職員	下内教育推進部副部長	
	参加者	7名 ※市長と語るかわにし Meeting～学校教育のミライ～への参加	
	事 務 局	企画財政部政策創造課 稲治課長、中郷副主幹、西寄主任、三嶋 教育推進部教育政策課 的場課長	
傍聴の可否	可	傍聴者数	3人
傍聴不可・一部不可の 場合は、その理由			
会 議 次 第	1 開会 2 議事 市長と語るかわにし Meeting～学校教育のミライ～ 3 その他		
会 議 結 果			

## 会議経過

発言者	発言内容等
市長	<p>本日は教育について、お話をさせていただこうと思います。本来、学校教育の中身をどうするかというのは教育委員会で話をします。今は法律が変わり、総合教育会議のなかで、市長と教育長を含む教育委員会が話し合っ川西の教育をどうするかを決めています。</p> <p>今、川西市は教育大綱という教育のあり方をどうするのかというものを作成中です。その前段として、当事者である子どもたちの話を聞こうと思い、市内各中学校、養護学校をまわりました。教育でディスカッションというテーマが幅広いので、中学生たちから出た提案に基づきお話しさせていただきたい。そのなかで、本日は長期休暇、少人数授業というテーマについて議論したいと思っています。</p>
教育長	<p>教育委員は私を含めて5名おり、私はその中で教育長を務めさせていただいています。</p>
坂本委員	<p>子どもがラグビースクールで緑台高校を利用していましたので、この辺りの地域には大変お世話になりました。本日は皆さんの意見をお聞かせいただきたいです。</p>
治部委員	<p>私は心理士なので、子どもたちを一人一人見ていきたいと思っています。本日はその観点でお話させていただきたいです。</p>
事務局	<p>(以下の説明)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.事務局よりお願いとお知らせ</li> <li>2.本日の流れの説明</li> <li>3.テーマ設定のいきさつについて</li> </ol>
市長	<p><b>【テーマ1:長期休暇について】</b></p> <p>「長期休暇」についてです。子どもたちからは冬休みを長くしてほしいという意見がありました。ただ、授業時間は決まっているのでどうしたらいいかを聞いたところ、夏休みを短縮するなどの意見が出ました。</p> <p>休みというのは保護者の生活と様々な面で関わっています。コロナの際、登校できない期間があったため夏休みが短くしたところ、旅行や補講にいけない等様々なご意見がありました。教育だけの観点だけでなく、地域や家族等様々な観点から考える必要があると感じます。少し教育長からお話をいただいて皆様のご意見を聞きたいと思います。</p>
教育長	<p>私から現状とこれからの考え方についてお話をさせていただきたいと思います。夏休みは6週間、春・冬休みが2週間ずつで、年間10週間が長期休みになっています。</p> <p>コロナ前、長期休暇のあり方について考える必要があったと思っていました。夏休みは長すぎて生活が乱れてしまったり、登校のモチベーションが崩れたりするなどの問題がありました。一方で、冬休みや春休みは短く、特に春休みについては年度が変わるのにスケジュールがタイトだと教員から意見がありました。</p> <p>私は元々中学校の教員でしたが、秋休みを作ったこともありました。その際、子どもたちからは好評でした。しかし、保護者は休めないなか、子どもたちだけ休むのはどうなのかという意見もありました。子どもたちの休みを長くしてほしい等の意見の背景には、学校生活が子どもたちを拘束しすぎているということがあると感じています。</p>

発言者	発言内容等
市長	<p>子育てが終わられている方、これからの方、様々な方がいると思いますが、皆さんのご意見をお伺いしたいです。</p>
参加者	<p>幅広い問題で難しいと思います。私も教員をやっていますが、学校の拘束時間はすごく長いと感じています。自分の勉強をする時間が確保ができないので、もう少しゆとりを持たせる必要があります。</p> <p>長期休暇について、学習保証という観点から申し上げますと、学習時間は決められているのでそれを流動的にすればよいと思っています。家庭によっては子どもたちがお昼ご飯を食べることが問題であり、やはり給食を食べるためにも学校に行くべきだと感じています。</p>
参加者	<p>高校2年生、中学1年生の親です。冬休みは短いのに宿題が多すぎると聞いています。冬休みは宿題がメインになっています。休みを増やしてほしいというのは学校が楽しくないからではないでしょうか。</p> <p>また、部活も皆がやっているから皆と一緒にじゃないといけないという思いでやっており、拘束時間が長くなります。中学1年生は特に部活が始まることで拘束時間が長くなり、子どもは戸惑うのではないのでしょうか。中学1年生はカリキュラムを考える必要があると思います。</p>
参加者	<p>非常に重要だと感じたのが、拘束時間に占める自由度の無さです。例えば、1時間でも30分でも自由に使う時間があってもいいかと思います。各先生が宿題をだしており、全体を調整している人がいないと感じています。</p>
坂本委員	<p>拘束時間が長く、子どもたちからも色々な話を聞きます。落ち着く間もなく、学校が終わってしまう。</p>
治部委員	<p>質×量で考えた時、スタートラインと到達点と同じというのが問題だと考えています。その子どもに合った難易度、分量調整をしてもいいと思います。</p>
教育長	<p>家庭学習については、教員も悩んでいます。みんなに同じ量を出している。漢字100回書く宿題は100回書くことが目的になっており、おかしいと感じています。しかし、宿題が少ないと多くしてほしいと仰る親もいます。家庭学習のありようは、個人が課題を選択し、自分からやる必要があります。タブレットが一人一台あるので、自分で調べていく姿勢が必要ではないでしょうか。</p> <p>約20年前に学習指導要領が厳しくなり、当時中学校では6時間×5日間になりました。放課後もなければ教員も打ち合わせの時間や研究時間がありませんでした。今は柔軟に考えてもいいようになってきました。子どもが自分で選択して学ぶことをしないといけないと思います。学び直しをする時間がないことは大きな問題です。</p> <p>今求められているのは「個別最適な学び」と「協働的な学び」です。これから子どもたちが社会に出て求められるのは、専門的な知識や学び方だと思います。</p> <p>最後に申し上げたい。教育課程を組む際に、これまで子どもの意見を聞いてこなかったのが問題です。意見を発出して、それを生徒自身で話し合うことは学校生活に当事者意識を持たせることに繋がります。</p>
市長	<p>アンケートの結果では、緑台中学校は宿題が多いという意見が多かったです。</p> <p>長期休暇については夏休みを短くし、春、秋、冬に足していくといいのではないかと思います。</p>

発言者	発言内容等
参加者	<p>また、日常もう少し早く帰りたいという意見もありました。そのために何を削ればいいのかと聞いたら、掃除の時間や、掃除のために着替える時間を削れるという声がありました。</p> <p>学校は、校長先生の裁量で決められるものが多いです。Twitterで私に対してくる意見は学校で話し合えば解決できることがほとんどです。学校や保護者、子どもたちでコミュニケーションが取れるようになればいいと思っています。</p> <p>まず子どもたちが学校にもっといたいと思うようにするのが一番大切だと思います。そのためには先生と触れ合う時間が必要ですが、先生の勤務内容が過酷すぎると感じます。</p> <p>本来、生徒と向き合うべき時間が雑務に追われてしまい、生徒との関係が希薄になっている。昔は学校に行きたいから早く休みが終わらないかという時代があり、その頃に戻ってほしいと思っています。</p>
市長	<p>そのご意見は本質的な部分であり、我々は受け止めないといけないと思います。</p>
教育長	<p>今、教員の成り手が少ないです。精神疾患等で休職や退職をする教員が増えています。そういったなかで、教員の働き方改革が進んでいます。数年前から川西市も取組んでおり、教員がやるべき雑務をやってもらうスクールサポートスタッフというのを配置しています。現場の教職員からすごく好評をいただいています。</p> <p>もう一つは部活動についてです。力を入れたい教員もいれば、重荷とを感じる教員もいます。部活動をやりたい子どもたちの気持ちも分かりますが、勤務時間を守らなければいけない。また、経験のない部活動を担当される等の問題もあります。社会移行ということで、学校は場所を貸し、指導は外部へという動きがあります。教員不足はかなり深刻な問題であるという意識はあります。</p>
市長	<p><b>【テーマ2:少人数授業について】</b></p> <p>働き方を改善するなかで、教員の方にはしっかり専門職としての仕事をしていただくように予算を確保していく必要があると感じています。</p> <p>それに関係し、少人数授業についてです。可能な限り少ない人数で授業を受けるために教員を増やして行っています。そうした結果、先生の教え方が違うなど、子どもたちから様々な意見があります。授業はのあるべき姿についてディスカッションしていきたいと思っています。</p>
教育長	<p>多くの学校はつまずきが多い算数、数学、英語を少人数授業にしています。人数の割り方は学校によります。なお、県は習熟度別で分けることを推奨していません。中学校はできるだけ多く少人数授業を実施したいと思っていますが、教員がなかなか見つかりません。</p>
参加者	<p>予算を頑張っけて付けているが、子どもたちは前向きではありません。先生の教え方に対する不安など、こどもたちは様々な思いがあります。みなさんが子どもたちや周りで聞いているなかで感じる課題を伺いたいです。</p>
参加者	<p>授業の目的は生徒に理解してもらえなことだと思います。私の経験の話ですが、授業中に質問したくてもできない子は、放課後残って指導員と信頼関係ができてくると、質問をし始めます。その結果、学んでいます。</p> <p>私は情報科を担当しており、2人で1クラスをみています。このやり方は授業を軌道に乗せることは可能なので、組み合わせたりするといいいのではないかと思います。</p>

発言者	発言内容等
参加者	<p>多田中学に通う生徒の保護者です。観点別評価について、分かりにくいので明確にならないかと思っています。多田中学校では、入学式の日欠席者にはプリントを配布せず、Teamsで配信しますとのお便りがありました。私の子どもは6月まで学校を度々休んでいたが、学校から連絡が一切こず、課題も予定も分からない状況でした。</p> <p>先生によって対応が違うこともあり、不平等であり、提出物も出せないため、観点別評価に不満を感じています。また、ZOOMも見れずフォローがありません。学校に来れない子に対してのフォローをお願いしたいです。</p>
教育長	<p>個々のケースは確認しないといけないため、一般的な回答で申し訳ないですが、観点別評価について、それぞれ評価基準は明確にしていると思うので、開示すべきだと感じています。休んだときに学校側と連絡が取りにくいことについて、学年や学級によって差が出ることはよくない。学校に来にくい子どもへのアプローチについて、学校毎でデコボコがあってはいけないので、改善したいと思っています。</p> <p>ZOOMでの出席扱いについては、コロナのときにZOOMでも出席に扱いにした経緯もあるので議論したいです。</p>
市長	<p>デコボコについては、平等にしようすると下に合わせてしまいます。できる部分、いい部分をお互いが見習ってその差を埋めていくことが大切だと感じています。こういった内容は現場のご意見をどんどん聞かせてほしいと思います。</p>
参加者	<p>子どもが「分からないことを聞きたい」と3者懇談で先生に話をしたときに、先生が「質問しにくる時間ないよね」と言っていました。子どもたちには時間がありません。</p> <p>また、先生によって分かりやすい、分かりにくいがあると聞いています。先生のロールモデルは存在するのでしょうか。そのロールモデルを目指す統一意識が必要なのではないのでしょうか。</p>
坂本委員	<p>私の子どもも学校に行きにくい時期があり、行ったら授業は進んでいるしついていけないということがありました。</p> <p>ロールモデルの話ですが、どこかの中学校は先生同士がお互いの授業を見るなどしていると聞いたので、ヒントではないかと感じました。</p>
治部委員	<p>アメリカの論文で、学校教育の授業を構成する理論というのがあり、それによるとカリキュラム、難易度・習熟度、学習者の特性、教え方の4つである。4つの視点が組み合わさってくると学校が楽しいということに行き着き、その一つとして少人数授業があると感じています。</p>
教育長	<p>時間がなく、質問しにくいという点についてですが、小学校はわいわいやっていたけど、上の学年になるにつれて遠慮が出てきます。それは一斉授業の限界だと思っています。また、上の学年にいくにつれて疑問をもたなくなります。</p> <p>今、文部科学省が言っているのは個別最適な学びで、自分でタブレットで調べ、それでも分からなかったら教員に聞くという方法です。しかし、実態は同じ画面をみんなで見えており、その発想は変えていけないといけません。</p> <p>教員の資質は大事だと思っています。教員研修は盛んで、今も続けています。教え方だけでいうと動画を流せば良いが、人間同士のやり取りを把握してないものが教えるのは難しいと感じています。</p>

発言者	発言内容等
市長	<p>【自由テーマ】</p> <p>教え方など、先生に生徒の声が届いて改善していくことができれば良いと感じています。</p> <p>前半は大きなテーマでお話しましたが、中学生から他にも様々な提案がありました。気になることがあればお話を聞かせていただきたいです。</p>
参加者	<p>道徳教育や人間教育は非常に大事だと思います。また、今はPTAがないので、先生と保護者の繋がりがありません。その役割を市の方が担ってほしいです。また、各地域の繋がりも必要だと思います。</p>
教育長	<p>全中学校にサポートルームに有償ボランティアの方を1日4時間配置しています。今年度からは小学校にも配置しています。サポートルームに登録している子どもたちは活用し、自分の学習をするなど、取り組みは進んでいます。同じ悩みを持つ子どもたち同士で、繋がりをもつようになったことが収穫です。</p> <p>学校に行きにくい時に、こういったサポートができますよというのが必要です。学校の魅力づくりが必要であり、学校自身も変わらないといけない。サポートルームを始める際も、学校から反対意見が出ると感じていたがそういったこともなく、学校の価値観が少し柔らかくなってきたと感じています。</p>
市長	<p>PTAについての意見ですが、PTAは任意の組織で、課題は皆で話し合い、対応策を組み立てていきましょうという組織なんです。</p>
坂本委員	<p>PTAや保護者会をやってきましたが、活動は難しくなってきました。その中で学校に対し、何か貢献したいという保護者の方は一定数いると思います。</p>
教育長	<p>学校が閉鎖的に運営するのではなく、広く意見を聞きながら当事者意識をもって話し合うのが学校運営協議会です。地域が様々な支援をする部会をつくっています。ただ、こういった部会は担い手がおらず、制度は残るが実行的になっていかないと感じています。負担のない程度でやっていくことが大切だと思います。</p>
市長	<p>ボランティアやPTAは時代とともにかたちが変わってきているので、より発展的に変えていく必要がある。横の繋がりは大切だと思う。</p>
治部委員	<p>サポートルームのコンセプトは学びの選択肢、人の選択肢であると考えられます。この選択肢を増やすことで子どもたちが元気になり、自律に向かうと思います。私自身は選択肢を増やすための根拠を提示したいです。</p>
市長	<p>不登校が合っている間違っているという感覚はやめるべきです。学校に行けなくなった全ての子どもたちと学校以外の場所で繋がっていれば、学校を卒業してからも繋がりは継続するのではないかと思います。</p>
参加者	<p>子育てを卒業していますが、今の状況を知りたく本日は来ました。学生は自由がいいというけど、自由になると自分で決めないといけないことが増えるので難しいのではないかと思います。長期休暇は保護者の仕事や家庭のスケジュールもあるので、その辺りも考えていただきたいです。</p>

発言者	発言内容等
市長	<p>教育現場のことはみんなで決めていただくことがいいのではないかと思います。その瞬間決めないといけないこと以外は、できるだけ声を聞きたいと思います。</p>
教育長	<p>教育課程を組むときに当事者である子どもの意見を聞かなかったのは、私の反省です。また、去年中学生に対し、教育課程に関するアンケートを取った際に回答率が30%程度でショックでした。多くの子どもたちは意見を言っても聞いてもらえない、面倒くさいと思っていたかもしれないが、これから社会を担っていく子どもたちがそういった考え方で育っていいのかと思いました。そういった意味でもしっかりと意見を聞くのはやっていくべきだと感じています。また、意見を出す側もしっかり議論をする必要があります。</p>
参加者	<p>子どもたちも様々な意見をもっているんだと感じました。小さい時から様々な人と関わり、優しさなどが形成されていくんだと感じており、児童館を作ってほしいと思っています。</p> <p>自分の子どもに教員免許を取ればいいのではと言ったが、子どもは保護者が怖いから先生にはなりたくないと言っていました。また、教育実習に行った学生がこんな人数を一人でみるのは難しいと思い、断念したという話も聞きました。</p>
坂本委員	<p>先生も一人の人間であり、日々勉強を教えてください、感謝の気持ちを忘れず私はここまできました。今は保護者との関係が希薄になってきていると感じています。</p>
治部委員	<p>子育ては地域でやるイメージがあり、その規模が大きなバージョンが学校だと感じています。地域みんなで学校を支えていきたいと思っています。</p>
教育長	<p>本日は様々な意見を聞かせていただきました。</p> <p>学校教育は今大きな分岐点にきています。学校教育は一定の学力を定着させるという成果はありましたが、ChatGPTが進み変わっていくと思います。これから事務職は激減していき、専門職に就くことが多くなるだろうと感じています。学校教育はそういった変化に無頓着であり、私自身は危機感を持っています。熟議をする必要性が薄くなっていると感じます。学校教育は岩盤ではあるが、市長や教育委員と協議しながら良くしていきたいと思う。</p>
市長	<p>本日はありがとうございました。</p> <p>機能面の必要性として児童館のお話が出たため、ご意見としていただきたいと思えます。教育は自分たちで変えられるんだ、自分たちで発言して変えないといけない、そういうことができる場だという雰囲気を我々自身もつくる必要があると感じます。</p> <p>子どもたちから提案はすぐにできないこともあるが、発言や提案をしたことで世の中で少し変わったなというようなリアリティを感じてもらうことを教育大綱づくりのなかで生み出せたらいいなと思っています。教育長や教育委員が出てきて市民のみなさんとディスカッションするというのは全国で珍しいことだと思います。</p> <p>これから良い教育を作っていきたいです。</p>